

川島地区CS小中学校共通学校評価アンケート【市立川島中学校保護者】考察

実施時期 1月16日～27日 20項目

対象者 保護者127人中100人回答 回収率 79%

(1) 肯定群「とても思う」「思う」が90%を超えていた上位5項目

- 問16 私（保護者）は子どもが自力で登校することを大切にしている 96%
- 問4 学校は健やかな体を育むために努力している 94%
- 問8 私の子どもは家族や友達、近所の人にあいさつができる 93%
- 問15 子どもが地域の歴史や自然・文化の学習をするのは大切だ 92%
- 問2 学校は確かな学力が身につくように努力している 91%

(2) 肯定群「とても思う」「思う」が低い 下位6項目

- 問19 私（保護者）はPTA活動やボランティア活動にできるだけ参加している 34%
- 問14 私の子どもはスマホやゲームの家庭ルールを守っている 53%
- 問13 私の子どもは家庭学習の習慣がついている 55%
- 問11 私の子どもは自分の考えをうまく伝えることができる 60%
- 問10 私の子どもは早寝早起き朝ごはんの習慣が身についている 64%
- 問18 私（保護者）は学校行事に積極的に参加している 64%

(3) 考察

- 3校共通の「学校教育目標」の実現、共通部分「知徳体の調和のとれたたくましい人づくり」「人権を尊重し自他ともに大切にできる人づくり」の視点を重視して項目を作成していました。
- 「問2 確かな学力の育成」「問3 豊かで人権尊重の心の育成」「問4 健やかな体づくり」は約9割肯定で達成しているとみてよいと考えます。
- 「問4 外部の人を迎える雰囲気がある」「問5 相談しやすい」「問6 子どもは学校に楽しんで通っている」の問いは、肯定群が約8割で保護者との信頼関係の度合いがまずまず良好であるのが分かります。

- 問8～10、問14、問17から基本的な生活習慣の乱れが一部にあることが顕著に表れています。
- 問12 授業の集中度から授業態度はまじめだけれど、問11 伝える力や問13 家庭学習の取り組み方に課題が多い生徒の存在が明確です。
- 本校の保護者は、日頃から生徒の部活動移送の協力や個々の生徒の教育相談活動には熱心です。教職員アンケートの「保護者は学校の活動に協力的か」では肯定群88%でした。しかし、データからはPTA活動や学校が発信するホームページや学年通信などの情報には十分な関心を示していないことが分かります。コロナ禍にあってPTA活動が全く行えず、つながりが少ないことで役員の選考などが困難になっています。